

医療と法律

責任者 : 廣瀬 清英 講師
担当講座(科) : 人間科学科(法学分野)

講義 21時間
単位 1単位

学年

1学年 後期

学習方針

基本理念 :

医事法学は、新しい学問の分野であり、その体系や対象範囲について、これまでのところ通説的な見解があるわけではない。この学問は当初、医師法・医療法・その他の衛生法規など医療制度を定めた法律を体系的に論述する「医事法制」から出発したように、もっぱら医療を提供する医師の側の視点から、その業務と責任のあり方を中心に論じられてきた。しかし、現在の医事法学は、医療を受ける側に基本的視座をおきながら、人の「生老病死」に対し、法がどのように関わりあっているかを考えることが中心になり、医療事故をめぐる紛争や先端医療が提起する諸問題に対応して「医療過誤」、さらに「生命倫理」などをも視野に入れた「医療行為の法」として研究が進められている学問である。

一般目標 (GIO) :

本講義では、法学の知識を前提に専門的かつ進歩が著しいため法体系が複雑化している医療分野について、医事法学の立場から人の「生老病死」に対し、法がどのように関わりあっているかを、専ら医療を提供する側の視点からのみならず、医療を受ける側にも基本的視座を置きながら考察する。また、医療事故をめぐる紛争や先端医療が提起する諸問題にも対応して「医療過誤」や「生命倫理と法律」などについて概説し、それらを理解することを目指す。

到達目標 (SBOs) :

1. 医事法が目的としていることを学び、具体的事案から「医事法の精神」を養う。
2. 患者の権利、インフォームド・コンセントなど生活の場における医療と法の間係を理解する。
3. 生殖医療、人工妊娠中絶、遺伝子技術など生命誕生の周辺における医療と法の間係を理解する。
4. 安楽死、尊厳死、臓器移植など生命終息の周辺における医療と法の間係を理解する。

講義日程

(第5・6講義室)

受講者を2グループに分け、クラス1は火曜日2時限目、クラス2は金曜日1時限目に授業を行う。

クラス	月日	曜	時限	講座(科)名	担当者	内 容
1	9/14	火	2	法学分野	廣瀬 清英 講師	医事法総論
2	9/17	金	1			
1	9/21	火	2	"	"	医療行為と患者の自己決定権
2	9/24	金	1			
1	9/28	火	2	"	"	診療情報と法律
2	10/1	金	1			
1	10/19	火	2	"	"	生命の誕生と法律(1) 人工妊娠中絶
2	10/22	金	1			
1	10/26	火	2	"	"	生命の誕生と法律(2) 生殖補助医療
2	10/29	金	1			
1	11/2	火	2	"	"	生命の誕生と法律(3) 遺伝子技術の応用
2	11/5	金	1			
1	11/9	火	2	"	"	人体実験と新薬開発
2	11/12	金	1			
1	11/16	火	2	"	"	生命の終焉と法律(1) 治療拒否と自殺
2	11/19	金	1			
1	11/30	火	2	"	"	生命の終焉と法律(2) 脳死と臓器移植
2	11/26	金	1			
1	12/7	火	2	"	"	生命の終焉と法律(3) 安楽死と尊厳死
2	12/3	金	1			
1	12/14	火	2	"	"	医療過誤訴訟(1)
2	12/10	金	1			
1	1/4	火	2	"	"	医療過誤訴訟(2)
2	12/17	金	1			
1	1/11	火	2	"	"	医療過誤訴訟(3)
2	1/7	金	1			
1	1/25	火	2	"	"	社会保障法
2	1/14	金	1			

教科書（教）・参考文献（参）・推奨図書（推）

	書名	著者名	発行所	発行年
参	ブリッジブック医事法	甲斐 克則	信山社	2008
参	医事法入門（第2版）	手嶋 豊	有斐閣	2008

成績評価方法

原則として本試験の100点満点のみで評価する。ただし、出席状況に応じて小テストの結果を20点の範囲内で加点補正する。

オフィスアワー一覧

授業を担当する専任教員氏名	方式	曜	時間帯	備考
法学分野 廣瀬 清英	B - ii			